

狭山ヶ丘分館 図書館だより

2023春号

テントウムシの切り絵は

『祐琴のおしゃれかわいい重ね切り絵』を参考に職員が作りました。



狭山ヶ丘分館イベントのお知らせ

「春の読書の木」

■4月1日（土）から5月30日（火）まで

好きな本のことをおりがみの葉っぱに書いてね。お預かりしたおりがみの葉っぱは狭山ヶ丘分館入口の窓にはってある木にかざります。みんなで「読書の木」を大きく育てよう！



「図書館クイズスタンプラリー」

■4月18日（火）から5月30日（火）まで

「やさしい」と「むずかしい」2種類の問題用紙があります。全問正解すると素敵なプレゼントがもらえます。チャレンジしてね！職員手作りのガチャガチャを用意してお待ちしています。

「スペシャルおはなし会」

■4月29日（土） 午前10時30分から

■場所：えほんのへや ■対象：3歳から ■定員：6名（事前申し込みはいりません）
いつもよりすこし特別なおはなし会をします。

こんなことしました。

令和5年 新春（1～3月）

「かるた大会」

開催：1月10日（火） 参加者：子ども36名

1月の恒例となっている、すみれ児童館共催のかるた大会。多くの子ども達に参加してもらって実施することが出来ました。すみれ児童館職員が下の句を読み終わらないうちに、さっと手が伸び勝負が決まります。審判の図書館職員は、一瞬たりとも目が離せません。今年度は1・2年生の部、3年生以上の部でチームを分け、1チームの人数を少なくするなどの感染症対策を行いました。かるた大会の最後は表彰式。たくさん札が取れた子どもは、みんなの前で賞状とメダルが貰えます。「また来てね!」と言ってもらえたのが、とても嬉しかったです。



「絵馬に願い事を書いてみよう!」

開催：1月15日（日）～1月31日（火） 参加者：31名

おりがみでできた絵馬にお願い事を書いて飾ってもらいました。机で絵馬を書いた子たちの表情はとても真剣!

絵を描いたり絵馬いっぱい大きく文字を書いたのがカラフルで個性あふれる素敵な展示になりました! 子どもたちだけではなく、大人の方にも興味を持ってもらえてたくさんの方に参加していただけました。皆さんの願いごとが叶いますように!



「利用者懇談会」

開催：3月1日（水） 参加者：大人5名

令和4年度利用者懇談会を開催しました。3年ぶりの開催となった今回は、参加者の方へ狭山ヶ丘分館の1年間の活動実績などをご説明した後、それぞれ図書館への想いやご要望など、たくさんの貴重なご意見を頂きました。

利用者懇談会は年に一度の機会なので、図書館への様々なご要望に対して、真摯に受け止めて改善に努めてまいります。



「蔵書点検を行いました」

開催：2月20日（月）～2月24日（金）

2月20日（月）～2月24日（金）まで、「蔵書点検」を行いました。利用者みなさまにおかれましては、図書館の休館にご理解いただきありがとうございます。

図書館に所蔵しているすべての資料をハンディスキャナーで読み込み、データと照合することで、資料がきちんと図書館にあるか、日本十進分類法に基づき正しい場所に並べられているか、行方不明になっている資料はないかなどを確認することが蔵書点検の目的です。

狭山ヶ丘分館には約8万3千冊の資料があり、中には大きくて重い資料もあれば、脚立に上らなければ手に届かない資料もあります。そのすべての資料を1冊ずつチェックすることはとても根気と体力のいる作業ですが、年に1度、資料の現状をきちんと確認することで使いやすい図書館を作っていきたいと思えます。

今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

ただひたすらに
スキャナーで読み込んで
いきます！



長時間の作業なので、
腰痛対策にイスも準備！

「大人のための工作教室」

開催：3月19日（日） 参加者：大人5名

3年ぶりに「大人のための工作教室」を開催しました！今回は、蛇腹状のアルバムを制作しました。長方形の紙を折り、蛇腹状になるよう重ねて糊付けし表紙を付けます。お好みでリボンを付けたらアルバムの完成です。

参加された方は、説明を聞きつつ参加者同士でも会話をしながら作成してくださり、和やかな雰囲気の中での工作教室を進めていくことが出来ました。終了後のアンケートでも「楽しかった」「次は〇〇の作り方が知りたい」などの声も頂きました。今後の工作教室の参考にさせていただきます。ご参加ありがとうございました。



狭山ヶ丘分館 お知らせ

〈分館長のあいさつ〉

皆さん、こんにちは。この4月から所沢図書館狭山ヶ丘分館長に着任しました勝木浩之です。昨年IT業界から転職して、図書館勤めを始めました。まだまだ勉強中ですが、これまでの経験も活かして努力して参ります。所沢図書館狭山ヶ丘分館は、地域に根付いた市民の憩いと知見を育む場になっていると思います。これまで通り、そしてそれ以上に皆様に愛される様、リクエストに応じた蔵書を図る、また、地域性を活かした特色あるイベント等を行って参りたい、と考えております。どうぞ、よろしくお願い致します。

図書館スタッフ おすすめ本



名のないシシヤ

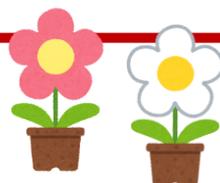
山田悠介／著 KADOKAWA 請求記号：B 913.6/ヤ



『リアル鬼ごっこ』の著者である山田悠介さんが書いた切ない物語を読んでみませんか？「シシヤ」という寿命を与える力を持った少年とそんな彼に感情を教えた普通の人間である少女を中心に「シシヤ」と人間が自分の居場所を見つけていく温かくて切ない物語です。お互いが大切な存在となっていくなかで「シシヤ」は子どもの姿のまま永遠に変わらず、いつか来る別れに胸が締め付けられます。大切な人を改めて大切にしていきたいと思えるようなおすすめの一冊です。

今日も怒ってしまいました

益田 ミリ／著 文芸春秋 請求記号：914.6/マ



日常の何気ない会話からの「怒り」や自分やペットに対する「怒り」まで……。 「怒り」はため込まずに笑い飛ばしましょう！という著者のストレス解消型エッセイ&四コママンガです。「うん、うん」と共感してしまう話から、「言われてみればたしかに……」と納得してしまう話が多くあっという間に読み終わってしまいます。クスッと笑える四コママンガもあり、読み終わった後は、スッキリ・ほっこりしてしまいます。イライラしている時よりも、「ちょっと疲れたな……」と思った時に気分転換として読んでほしい本です。著者の益田さん好きはもちろん、まだ益田さんの本を読んだことない人にもおすすめの一冊です。

きりえや偽本大全

高木亮／著 現代書館 請求記号：726.9/タ

まずは表紙に注目していただきたいです。囚人服を着た動物の猿。両手を膝に置き、目線はこちらに。そして上部に赤い文字で『罪と猿』と書かれています。この本は、きりえ作家の高木亮さんの「偽本ブックカバー」がまとめられています。名作のパロディを切り絵で表現し、架空のあらすじが書かれているのですが、どれも思わず笑ってしまうものばかりです。原作のあらすじも紹介されています。表紙の元ネタは『罪と罰』です。高木さんは原作にこの偽本ブックカバーを付けてプレゼントするとよい、と言っていますが、こんなブックカバーをもらった人は、表紙下部に書かれた言葉を、囚人服の猿に言ってしまいたくなるでしょう。—【何をした】—